

特命!!

清滝MAPを完成させる!!

IN 琵琶湖『真野浜水泳場』

活動日時： A…7月12日(土)
B…7月13日(日)

活動プログラム：

午前	集合・挨拶	おはようございます!! 今日は予定していた清滝ではなく、琵琶湖へ向かうよ。琵琶湖の圧倒的な大きさを活かして、年に一度の水プログラムを存分に楽しもう。
	自由遊び前半	今回は、みんなが好きな「自由遊び」だよ。しかし、その自由にもルールがあって、『みんなが理解して、楽しめること』を守って、遊ぼう。さあ、みんなでどんな楽しめる遊びができるかな?琵琶湖の可能性は無限大!
	お披露目会 昼食	午前中に各グループが行った遊びをみんなに見てもらおう。どのグループも個性豊かな遊びを行っているね。「あれやりたい!」という声も上がっているね。
午後	自由遊び後半	昼食をしっかりと食べたなら、後半戦も盛り上がっていきこう。昼食の時にいっぱい話し合いが出来たから、午前よりも楽しくて、濃い遊びをしているね。どのグループも笑顔が最高だよ!!
	振り返り・解散	自由遊びと言っても、一人一人が自由に遊ぶよりも、みんなで考えて、みんなが参加出来て、笑顔になれる遊びの方が楽しいね。「みんなで楽しむ」ことを忘れないでね。これからもこの気持ちを胸に活動を楽しんで行こう!!



<全体感想>

今月は『自分の楽しみをみんなの楽しみに変える』をテーマに活動を行いました。メンバーの活動に対する意気込みや楽しみな気持ちは天候に左右されることなく、集合時からワクワクしている様子を全開に表現されていました。今回はグループごとに『自由遊び』を展開しました。ルールとして「みんなが理解し、楽しめること」を前提に活動に臨んでもらいました。全体説明が終わり、グループタイムに入ると、すぐに「～がしたい!!」や「～をしよう!!」という声が聞こえました。声がるグループの様子を伺っていると、午前中は自分のやりたい気持ちが全面に押し出されている発言が多く、その意見に流されているグループもあれば、リーダーがその意見にストップをかけた話し合っているグループがありました。いずれのグループも行った遊びは、グループ内の皆が楽しんでいる様子でした。そしてメンバーにお披露目する機会を設け、その様子を見た周りの反応はイマイチでした。昼食で「もっと皆が楽しめる為には何が必要か?」を話し合っていると、徐々に自分の意見の中に、友達の意見を取り入れようとする声が増えてきました。話し合いの後に考えられた遊びは皆が同じように楽しめる遊びを展開されていました。泳ぎが苦手な友達がいたら、それを逆に楽しめる要素に取り込み、活かした遊びを考えたり、寒いという友達がいたら、浜で砂の造形作りを行ったり、試行錯誤されながらもグループみんなで楽しさを創り上げていました。一人が楽しいと感じる遊びよりも、皆の事を思い、考えた遊びの方が楽しい事を感じてもらえたかと思えます。

(竹中 哲郎)